

1	組織名称(略称)	The OpenStack Foundation https://www.openstack.org/			
2	分類	活動目的	実装仕様化・相互接続性検証	対象分野	情報技術(ソフトウェア関連)
	技術MAP	活動エリア(注1)	0	活動技術(注2)	0
3	目的	IaaSクラウドコンピューティング環境を提供するオープンソースソフトウェアソース群を開発、普及することを目的としたプロジェクト。			
4	組織構成	Board of Directors: Platinum、Gold、個人の各会員レベルから8名ずつ Technical Committee: 13人の選挙で選ばれたメンバで構成され、技術的な方針を決定する機関。 User Committee: ユーザグループ間の交流を支援する委員会。現在75のユーザグループが登録されている。			
5	参加資格費	個人会員: 無料 (Community MemberとFoundation Memberの種別あり) Platinum Member: 重要な役割を果たしている企業でbylawsで規定された定数がある。会費は\$500k USD/年 Gold Member: Boardで承認を受けた企業。\$50K USD/年から\$200k USD/年の範囲内で、年間売上の0.025%の会費が必要。 Corporate Sponsor: Startup企業(会費\$10kUSD/年)と一般企業(\$25k USD/年)の種別がある。			
6	主要メンバー (2017年11月現在) (注3)	主要メンバー: BoDを構成するメンバー: SUSE、Hewlett Packard Enterprise、Huawei、IBM、Rackspace、EasyStack、Ericsson AB、AT&T、Intel、Aptira、City Network Hosting AB、inwinSTACK、China Mobile Suzhou Software Technology Co., Ltd.、Fujitsu、Cisco Systems、Red Hat、NetApp、CERN。 うち日本企業: 1社 Fujitsu PM: 9社、GM: 22社(うち日系3社)、CS:114社(うち日系3社) 会員数: 145 うち日系企業数: 6			
7	他団体・組織との関係	不明。			
8	TTC活動との関連性 (注4)	<input type="checkbox"/> TTCの専門委員会活動と関係あり 対象専門委員会: <input checked="" type="checkbox"/> なし			
9	活動状況	オープンソースを公開する6プロジェクトが中心となって活動している。 (Nova (Compute)、Neutron(Networking)、Swift(Object Storage)、Glance(Image Service)、Keystone(Identity Service)、Cinder(Block Storage)) 世界各国のユーザグループ等により月に数件のペースで多数のイベントが開催されている。OpenStack Summitは年2回程度開催される。			
10	設立時期	2010年			
11	本部所在地	P.O. Box 1903, Austin, TX 78767 (具体的な所在地は非公開)			
12	関連標準化技術	OpenStackはクラウドコンピューティングの基盤としてOSS公開されている。各種ドキュメント類は https://docs.openstack.org/pike/ に公開されている。主な公開ドキュメントの種類は以下の通り。 Release Notes Installation Guides Deployment Guides Operations and Administration Guides Configuration Guides API Guides User Guides Project-specific Guides			

		Contributor Guides
13	備考	定款 (IPR Policyを含む) https://www.openstack.org/legal/bylaws-of-the-openstack-foundation/ ライセンス条項 (Contributor向け) https://wiki.openstack.org/wiki/How_To_Contribute#Contributor_License_Agreement 具体的な実装数は不明(会員の事例集は https://www.openstack.org/user-stories/ に掲載されている。)
14	更新年月	2017年11月

(注1) 活動エリアは以下から最も適当な項目を選択し、その番号を記入のこと。

- 2: モバイル系領域を中心に活動を実施
- 1: モバイル系領域の活動を主に、固定系領域の活動も実施
- 0: モバイル系、固定系の両領域にまたがって活動実施
- 1: 固定系領域の活動を主に、モバイル領域の活動も実施
- 2: 固定系領域を中心に活動を実施

(注2) 活動技術は以下から最も適当な項目を選択し、その番号を記入のこと。

- 3: APL(アプリケーション)領域の活動を実施
- 2: APL領域の活動を主に、MDL(ミドルウェア)領域の活動も実施
- 1: APLとMDLの両領域の活動を実施
- 0: MDL領域の活動を実施
- 1: NW(ネットワーク)領域の活動を主に、MDL領域の活動も実施
- 2: NW領域の活動を実施
- x: 該当せず等

(注3) 日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。

(注4) 「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会の活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名と関連している部分等を記載する。